

2022年9月2日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ国際投信株式会社

投資信託の現物設定による機関投資家向け資産運用・管理サービスの提供について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{ながしま いわお}長島 巖、以下 三菱UFJ信託銀行）と三菱UFJ国際投信株式会社（取締役社長 ^{よこかわ すなお}横川 直、以下 三菱UFJ国際投信）は、2022年9月1日に、ソニー生命保険株式会社（代表取締役社長 ^{はぎもと ともお}萩本 友男、以下 ソニー生命）が世界株式型特別勘定*1で保有する株式の現物移管を受けて、投資信託「グローバル・クオリティ・ファンドSL」を設定しました。

*1 特別勘定

変額保険や変額個人年金保険などで、その運用実績を直接保険金等に反映することを目的として、他の勘定と分離して運用する勘定のこと。

ソニー生命では世界株式型特別勘定について、これまで個別株式への投資を運用会社の助言に基づき自社運用で行い、世界経済の成長を背景に今後もその運用資産額の増加を見込んでおりました。しかしながら、ソニー生命で自社運用を継続する場合、大規模な特別勘定の運営に必要な態勢を整えるための、内部コストの増加が予想されていました。

三菱UFJ信託銀行および三菱UFJ国際投信では、お客様が運用する1.5兆円規模（6月末現在からの時価等を基に換算）の個別株式の現物移管による投資信託の設定という形で、ソニー生命が将来的な費用増加を抑制しつつ安定した運営を継続することを目的に、総合的な資産運用・資産管理サービスを提供していくことになりました。

近年、新しい運用対象や手法が次々に登場し、資産運用・資産管理業務は複雑になってきております。三菱UFJ信託銀行および三菱UFJ国際投信では、培ってきたグループの総合力を発揮して、生命保険会社をはじめ機関投資家の皆さまのアウトソースニーズに応え、引続き『「あなた」と「社会」の豊かな未来』の実現に努めてまいります。

		グローバル・クオリティ・ファンド SL
ファンドの目的		日本を含む先進国の株式等を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
主な投資リスク		日本を含む先進国の株式等の価格変動、外国為替レートの変動など
関係 法人	助言会社	モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社
	委託会社	三菱UFJ国際投信株式会社
	販売会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
	受託会社	

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

- 当資料は、プレスリリースとして三菱UFJ信託銀行および三菱UFJ国際投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 本件投資信託は適格機関投資家私募であり、一般投資家の方は、直接、本件投資信託への投資を行うことはできません。また、当資料は、本件投資信託や投資を行っている特別勘定を持つ保険商品の勧誘や情報提供のための周知を目的とするものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。